

# 平成25年度 中・高校生海外研修事業



3月25日から4月4日までの11日間、オーストラリアを訪れていた中学生が研修の成果を報告しました。団長の坂口桃花さん（幕別中）が「オーストラリアの歴史や文化を感じることができ、貴重な体験ができた。」とあいさつ。たくさんの思い出話が弾んだ楽しい報告会となりました。

## 貴重な体験 成果報告 研修 成

中・高校生海外研修事業は、国際的な視野を広げることなどを目的に21年前から実施しています。今年も中学生16人が研修に参加し、3月26日～4月1日、キャンベラ市でホームステイをしながら現地の学校の授業などを通じて日本との文化や習慣の違いを体験してきました。

●滞在1日目

研修生たちはシドニー市内で市内観光、マンリーオーシャンビーチで水遊びをしたあと、バスで約4時間かけてキャンベラ市へ移動。メルローズハイスクールで



## 研修生から一言感想



**小林 柚葉（幕別中）**  
上手に英語は話せなくても相手の気持ちを分かろうとすることが大事だと学んだ。



**坂口 桃花（幕別中）**  
日常のちよっとした部分で日本とオーストラリアの文化の違いを感じた。



**橋本 侑菜（糠内中）**  
一番見たかったオペラハウスを見ることができてとても嬉しかった。



**伊東 あい子（札内中）**  
羊の毛刈り見学で羊を捕まえるチャンピオンに。嬉しさ半分恥ずかしさ半分だった。



**森本 錬（札内中）**  
メルローズハイスクールの方たちはみんな優しく、いい人たちだった。



**玉川 愛（札内中）**  
自分が伝えたいことを英語に直して会話することができて、一歩成長できた。



**蓮見 朱里（札内中）**  
夕食で作ったもろった味噌汁が美味しかった。味噌や豆腐が売っていて驚いた。



**菅野 裕斗（札内中）**  
ホストファミリーとの別れは人生で一番辛く、友情の大切さを学んだ研修だった。



ビクトリア州議事堂前での集合写真。  
議会開期中の貴重な見学となりました。



ホストファミリーと対面しました。

●滞在2・3日目

体験授業がスタート。  
ブーメランのペイントやアンザック（終戦記念）ビスケットの調理実習などが行われ、カンガルー肉のステーキも試食。初めて食べるオーストラリアの味に舌鼓を打ちました。

課外授業では羊の毛刈りや国立博物館を見学し、オーストラリアの文化と歴史を学びました。

●滞在4・5日目

学校はお休み。研修生たちは終日ホストファミリーと観光をしたりスポーツをしたりと思いきいの休日を過ごしました。

●滞在6日目

ティドビンビラ自然保護区でコアラやカモノハシを見学後、夜にはさよならパーティーが開かれました。

研修生たちは事前に練習を重ねたダンスや歌を披露。その後ひとりずつ英語で感謝の気持ちをスピーチし、別れを惜しみつつ皆で



伝統菓子アンザックビスケット作り。固めの食感の素朴な味わいのビスケットです。

過ごす最後の夜を楽しみました。

●滞在7・8日目

オーストラリアの友達と涙の別れのと、メルボルン市へ移動し、ビクトリア州議事堂やセント・パトリック大聖堂などの歴史ある建造物を見学。

翌日楽しかったオーストラリアの思い出を胸に帰国しました。



引率の国際交流員のグリーンハウスさん、忠類中学校の遠藤先生、教育委員会の西田係長。



**中 早織**（札内中）  
ホストファミリーとたくさん話すことができて更に英語が好きになった。



**山下恋香**（札内中）  
将来の夢に向けて英語のスキルアップができた。研修に参加できて本当に良かった。



**野尻麻緒**（札内東中）  
500mLのペットボトルの水が3ドルもして驚いた。水の大切さがよくわかった。



**國安風花**（札内東中）  
晴れ渡った綺麗な星空の中サザンクロスを見られたことに感動した。



**中山祥歩**（札内東中）  
マンリービーチはすごく綺麗で北海道の海とは全然違った。同じ地球なのにすごい！



**矢野健斗**（札内東中）  
ホストファミリーとは本当の家族のように過ごすことができ、最高だった。



**谷口康太**（札内東中）  
初めて見るコアラやカンガルー、エミューはとても迫力があつた。



**相澤利玖**（忠類中）  
行く前はとても不安だったが、また行きたいと思えるほど楽しい研修だった。